



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

# プロバスだより

## 第302号

2021 年 1 月 14 日発行

編集・発行：情報委員会

2020～2021 年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

### 臨時総会・例会

日 時：令和 2 年 12 月 10 日(木) 13:30～15:00  
場 所：八王子エルシィ  
出席者：47 名 リモート参加者 5 名  
出席率 75 %  
(会員総数 59 名、欠席 8 名、休会 2 名)

### 臨時総会

#### 1. 開 会 齋藤委員長

臨時総会を開催します。

#### 2. 会長挨拶 田中会長

#### 3. 議長選出

恒例により会長が議長を務め、田中会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

#### 4. 書記・議事録署名人の選出

書紀に岡部治会員、議事録署名人に土井俊玄会員、土屋三千代会員が選任された。

#### 5. 議 事

議案は配布されているので、項目のみを掲載。

第Ⅰ号議案 「2020 年度生涯学習サロン特別会計予算」

第Ⅱ号議案 「2021 年度市民企画事業補助金申請」

第Ⅲ号議案 「2022 年全日本プロバスクラブ総会準備委員会」設立

第Ⅰ号議案、第Ⅱ号議案については、馬場地域奉仕委員長から、第Ⅲ号議案については一瀬交流担当から説明があり、審議の結果賛成多数で可決承認された。

#### 6.議長解任

#### 7.閉会

### 第 302 回例会

#### 1. 開 会 齋藤例会委員長

第 302 回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

#### 2. 会長挨拶 田中会長

今日のご出席ありがとうございました。  
来年はどうなるかわかりませんがよろしく願い致します。

#### 3. ハッピーコイン披露

河合副会長からハッピーコイン 18 件が披露された。(3～4 ページに掲載)

#### 4. パースデーカード贈呈

12 月生まれの 4 名の会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られた。



写真左から 齋藤、飯田、鈴木英雄、宮城、各会員と会長

#### 5. 幹事報告 持田幹事

コロナ感染が危ぶまれる中、多くの会員の皆さまのご出席ありがとうございました。お陰様で臨時総会を無事に予定通り終えることができました。

① 本日の臨時総会と例会の開催については先週の理事会で相当真剣な協議がありました。コロナ感染が増加する中でどのような集まりを持つべきか、リスクの中で会合を持つべきか、リスクを最小にするにはどうすべきか、などなどあり、結局十分なコロナ対応をして、開催という事になりました。今回は変則な臨時総会開催となり、皆さまにいろいろ不都合をおかけしたが、皆さまの深いご理解に感謝しております。

② With Corona の時代に、当クラブも行動変容が求められております。総会の決議の方法、諸連絡・伝達の方法、例会の運営方法、など従来と異なる新たな且つ簡便で密にならない道を進むことに慣れて行かなければいけないと思います。

③ 本日も例会はリモートにて行いました。リモート参加者は5名でした。(写真)



④ 1月例会の会食はありません。新年会は無しという事です。ご理解ください。

⑤ 同好会活動についてですが、11月理事会にて5年間活動の無い同好会は廃会とすることにしました。「歴史を肴に語る会」の同好会活動が2015年以降5年間ありませんので廃会と致しました。

## 6. 委員会活動報告

### (1) 例会委員会 齊藤委員長

来年1月の新年顔合わせ時のお年玉の商品、皆様お持ちよりいただきありがとうございました。

本日は時間短縮のため、「卓話」「25周年を振り返って」「同好会活動報告」は次回以降に先送りした。

来年1月も今回と同様、時間短縮した上で13時30分開催予定です。例会開催も状況によってわかりませんが、変更があればご連絡します

### (2) 情報委員会 内山委員長

皆様のお手許にプロバスだより第301号をお届けしました。有泉委員の編集により6頁建てとなり

ました。11月のホームページへのアクセス件数は186件でした。

### (3) 会員委員会 岡本副委員長

鈴木英雄会員と五位堂保会員の名簿とアドレスがお配りしてあります。

1月例会時には後期年会費12,000円と活動準備金2,000円の合計14,000円のご準備下さい。

### (4) 研修委員会 飯田委員長

研修委員会からはすでに特別例会の総括は12月プロバスだよりにて報告させていただきましたが、当日のアンケートの実施結果のまとめを報告します。

次年度の特別例会のご参考にして頂ければ幸いです。

研修会全体のアンケート結果

① 全体的に企画内容は「よい」が28人 90.3%

② 井上先生のお話は「理解できた」が28人 90.3%

③ 時間的には「ふつう」が28人 90.3%

④ 朗読会は「感動した」22人 70.9%

次年度以降の特別例会のあり方について講演会形式、作品展形式、討論会形式などの開催希望があった。

その他希望することとして

- ・ 小さな見学ツアーも計画して欲しい。
- ・ 講演会形式と作品展形式を交互に開催して欲しい。
- ・ あなたの「お宝」は何ですか？

などの意見が寄せられた。

### (5) 地域奉仕委員会 馬場委員長

コロナの先行きは必ずしも安心できない状況ですが、「生涯学習サロン」の準備は予定通り進めています。今月中に外部会員(近隣プロバスクラブを含む)募集の案内状の発送、開講式・閉講式の来賓の出席依頼(八王子市関係は完了)を行う予定です。

また、他委員会からの人的支援をお願いする事項

① 受付チームの編成

② 会場整備チームの編成(会場の一部の設営・収納・消毒など)

③ 講演毎の司会及び準備担当

等を整理した上で1月例会において御願いをする予定です。よろしくご協力をお願いします。

さらに、受講料(2,000円)の徴収(ただし昨年度支払い済みの会員には1,000円の払い戻し)は2月例会を予定しています。地域奉仕委員会は無事に開催できることを切に願っています。なお現時点では会

場（クリエイトホール）の定員の制限要請などは出ていません。

## (6) 交流担当

臨時総会で承認をいただきましたので「全日本プロバス八王子総会」の準備委員会立ち上げに向けて設立プロセスに入っていきます。今後何かとご協力いただく局面があらうかと思いますがよろしくお願いいたします。

来年の夏に総会開催予定の五所川原の田中全日本理事（実行委員長）が辞任されたとの連絡がきていますが、やや心配な事態です。

各所のプロバスクラブの「プロバスだより」を今回覧しておりますが、10月までは感染対策をとりながら各クラブとも例会を何とか実施していることがうかがえます。今後が心配ではありますが。

## 7. その他

### 第41回八王子いちよう祭り終了のご報告

いちよう祭り祭典委員会副会長 岡本 宝蔵

今年は全てのイベントが中止の中で「楽しく元気に歩こう！いちよう並木！」「祝・日本遺産認定記念事業」「新型コロナウイルスの感染症・感染症拡大防止に関する啓発運動」をメインイベントとして、11月1日から30日まで、初めての試みのモバイル「ムーちゃんスタンプラリー」を含めそれぞれが成功を収めることが出来ました。

例年通り、東京八王子プロバスクラブの方々（13日、14日、15日）、関係者の皆様方、ボランティアの皆様のご支援とご協力をたまわりました。また警察署、交通安全協会、保健所、消防署のご指導のもと大きな事故もなく無事に運営出来ましたことに深く感謝申し上げます。



## 8. プロバス賛歌

起立・黙唱

## 9. 閉会

河合副会長

お疲れ様でした。臨時総会・例会と駆け足での開催でした。進行への御協力ありがとうございました。

昨日の新聞記事によりますと、昨年と比べ、今年売り上げが急増した商品は、衛生関連の用品とのことです。代表がマスクで昨年の4倍強、殺菌・消毒剤が3倍、体温計が2.5倍となったそうです。いずれもコロナ対応の衛生用品ばかりです。

ここに来て、またコロナ感染者が急増し、第三波の流行期に入ったとされています。寒さに向かう年末年始にかけてくれぐれもご用心ください。そして元気に良いお年をお迎えください。以上で本日の例会を閉会とします。



◆コロナ感染拡大の中、いろんな対策を講じながらこうして臨時総会、例会開催にこぎつけたこと、幹事はじめ関係者のご努力に感謝しています。早い終息を祈るばかりです。 一瀬 明

◆我が家一同 頑張ってます。 下山 邦夫

◆3月の演奏会にむけて、優秀校3校が練習を続けていることを聞いて、うれしく思いました。何とか実現したい気持ちで一杯です。 一瀬 明

◆今年も大過なく終われそうでなによりです。来年もよろしく！ 野口 浩平

◆“はやぶさⅡ”帰還おめでとうございます。次なるミッションを終えて帰るのが11年後との事、それまで元気でいられるようにいと祈念しつつ……。 飯田富美子

◆来年こそ、コロナ禍が終息し良い年であることを祈ります。 山口 三郎

◆2022年全日本プロバス協議会八王子総会「準備委員会」設立が承認。それに向けてみんなでもりあげていきましょう。 飯田富美子

◆秋の風情たっぷりの日本閣での特別定例会へ初めて出席させて頂きました。素敵な会員の皆様方と一緒にさせて頂きましたこと大変幸せに存じます。講演「コロナウイルスと日本人」は大変良い勉強になりました。朗読「不断草」にも、ひき込まれてしまうほどすばらしいものでした。ありがとうございました。 井上 克 妻恭子

◆小惑星探査機はやぶさ2号が約6年の宇宙の旅を終え、カプセル玉手箱を日本に送ってくれました。おめでとう！ 岩島 寛

◆今期の例会が今迄支障なく開催されたことを喜ぶとともに、残り6回の無事開催を切に祈ります。 馬場 征彦

◆コロナ騒ぎが収まらない中、万難を排して例会を開けたこと、そしてお集まりいただいた皆様に感謝して。 田中 信昭

◆北風が木々の葉を払い落とす師走となり、年の瀬をむかえた。今年是中国の武漢で発生したコロナウイルスにより日本国にも蔓延して国民の日常生活が変わり大変な年である。来年はコロナウイルスに負けない強い精神力と体力をもって日本を守っていこう。 荻島 靖久

◆薬剤師になった孫がこの度さいたま市の公務員に合格。病院か衛生研究所へ配置されると思うとのこと私としてはほっとしています。 高取 和郎

◆はやぶさ2 帰還 おめでとう。タッチアンドゴー 一行ってらっしゃい 杉田 信夫

◆鬼の霍乱で8泊9日のGo To Hospital 無事退院してきました。消化器病院久野会員に大変お世話になりました。 杉山 友一

◆上山した孫が8ヶ月の修業中、今では新しく入った修行僧のめんどろをみているそうで一安心。 土井 俊玄

◆11月の特別例会にて青羽先生の朗読で物語の世界に入り自分なりに状況を想像し、楽しんだり、感じたりする時間を持ちました。我が子が学校に入るまで、夜寝る前に本を読んであげた方はたくさんおられるでしょう。幼稚園によっては読みきかせという保育の時間があります。子供達は物語の世界をいろいろと創造し、自分で物語の世界に入り集中し想像をし、聴くのです。

“だめだよ”“かわいそう”“がんばれ”“いけないよ”等の声を出し、その物語の世界に入っていく子がいます。この体験が学校に入って授業を聞く力、理解する力、考える力、創造する力等の礎となり、小学校4年生位になると学力として現れるとも言われています。

御茶ノ水女子大の研究に、小さい時に読み聞かせを受けた子と受けなかった子の学力には差があると述べた論文があります。市内には“お話の会”という読み聞かせをするボランティアグループがあります。孫やひ孫に読んでとたのまれたら喜んで読み、良き“じいちゃん”“ばあちゃん”に！ 塚本 吉紀

◆今年コロナ禍に翻弄された一年でした。来年こそ、牛の歩みでもいいから明るい一年であってほしいと願って……。 河合 和郎



#### 松映茶会に参加して

阿部 治子

令和元年11月10日グランドプリンス新高輪茶寮・恵庵にて、長年において功績のある財団役員4名の先生方の茶会が開催されました。

私もその一人として茶席を掛けることが出来ました。全国より三百名の会員のご参加を頂きました。



プロバスクラブ会長  
飯田富美子様、プロバス  
茶会の方々もお出まし  
くださいました。その折  
御家元様にもお目もじ  
も出来、お言葉も頂戴す  
ることが出来ましたこと、とても光栄に存じました。  
プロバスの皆様に感謝致します。



掲示いたします記事は東阿部流「翠松」で全国 16  
支部会員に配布されたものです。この茶会は入門 56  
年、阿部雪瑋にとって茶人としての集大成の茶会で  
した。

—記事—

第 14 回松映茶会 席主 阿部雪瑋

令和元年 11 月 10 日、松映茶会が新高輪茶寮・恵  
庵にて開催されました。

恵庵の庭は天高く風清く、木々は紅わたり始め良  
き日に恵まれました。社中一同緊張の中、心身を清  
め全国よりお出まし下さいます方々をお迎え致しま  
した。正客印の福祿寿様に今日のお茶会が無事であ  
れと祈りつつ、お一人でも多くの方々に茶席を楽し  
んでいただきたく、十席目の席をもって終えました。  
「お茶もお菓子もとても美味しかったです」との言  
葉と笑顔に感謝です。一期一会の茶会を終えること  
が出来ました。

今日、私が松映茶会に参加出来ましたことは三世・  
四世・当代の御家元様と副家元様の御指導と御慈愛  
の御陰様と深く感謝申し上げます。



これからは「閉座して松風を聴く」が如く、  
穏やかに静かなる余生を送ることになるかと思っ  
ています。

煎茶道東阿部流を学ぶに当たっては、また新たな  
出発であればとも願っています。茶会進行には財団  
役員御一同に感謝申し上げます。

点前 茶机 椀席 床 閑座聴松風

五十八代奥田行郎睨下

盛物 三友 春蘭・十角糸瓜・桃

正客印 象牙 福祿寿

涼炉 七宝紋染付  
三代井上春峰造  
保富良 白磁焼  
雲林院宝山造  
茶合 山水図 貫名海屋  
茶入 唐物 主茶碗・茶托 象牙  
対急須 白磁木瓜型 五代三浦竹泉造  
替茶碗 色絵山水図 五代三浦竹泉造  
水注 唐物 結界 陶板色絵 三代井上春峰造  
菓子 赤白 柏谷 菓子器 時代輪島塗



### 教科書ができるには

塚本 吉紀

学校で使用している教科書はど  
こで誰が、どのような方法で、作  
成をしているのだろうか。

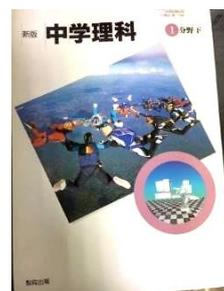
そして、子供たちを導く教科書  
材として採用されるにいたるのだ  
ろうかとお考えになったことがあ  
りますか。私が教科書作成に関わった十数年の経験  
から、当時を思い出しながら教科書誕生までを綴っ  
てみたいと思います。



教科書の基準は文部科学省から出されている学習  
指導要領に基づいて、どの学年ではどんな教科をど  
んな内容で教授するかという骨子が決まっています。  
ここで法の根拠に少しふれておきます。

学校教育法の規定に基づいて、文部科学大臣は学  
校教育法施行規則において中学校の教育課程に関す  
るいくつかの基準を定めています。教科 (9 教科) や  
総合的な学習の時間、特別活動等を、そして、この  
ための年間標準授業時数と各学年の標準総授業時数  
を定めています。その授業教材である教科書ができ  
るまでの状況 (過程) に触れてみたいと思います。  
私は中学校の理科の教科書作成に携わっていました。

作成には、まず我々が現在関わ  
っている出版会社の教科書を使用  
している地域へ出向き、先生方  
の声や地域担当の営業社員の声  
を聴く時間を持ちます。更に、  
文部省の教科書検定を受けてい  
る教科書を台本に新しい学習指  
導要領 (10 年ごとに改訂) に基  
づいて教材の選択、内容の吟味  
、実験の取り上げ方、解説過程  
の作成手順の



私の一句〈十二月の句会から〉

河合 和郎

コロナ騒動に明け暮れた年末に来て第三の大波が日本列島を襲っている一人一人が用心してかからないと。句会の在り方も安全な方法を考えてゆきたい。

途惑ひの手締め今年の酉の市 田中 信昭

今年の酉の市の人出は例年になく少なかった。シャンシャンシャンも控えめに。これもコロナ故。

落葉踏み隠れ段差によるめけり 下山 邦夫

ふんわりとした落葉の踏み心地は気持ちの良いもの。しかし、木の根や段差などなども。ご用心を。

寒中に疲れを癒す長湯かな 間宮 敏明

寒さの厳しい冬の日の入浴は格別の癒しがある。長湯をしつつ一句をものにする俳句冥利に尽きる。

葉牡丹の染まる三色や小宇宙 飯田富美子

葉牡丹の丸い形を宇宙に例えて、色の変化を楽しんでいる作者。俳句は心で遊ぶ文芸でもある。

切れ長の無垢の瞳はマスク越し 馬場 征彦

今年是一年マスク無しの生活は考えられなかった。作者はマスクの奥に夢見る少女の姿を見た。

カレンダーコロナ残して十二月 野口 浩平

12月が来てもコロナ禍は益々猛威を振るっている。来年こそは明るい一年であって欲しいと祈る。

冬めきて思ひの外の老い加減 東山 榮

「思ひの外の老い加減」の措辞が切ない。老いの誰しもが実感する不調。せめて心だけでも若さを。

冬没日瀬に立つ鷺の長き影 矢島 一雄

夕暮れの瀬に立つ鷺の孤影。細く長くじっと動かない。墨絵のような静寂な一景を一句にまとめた。

みめよきを一枚拾ふ落葉掻き 池田ときえ

「みめよき」の措辞でこの句は決まった。落葉掻きの日常を見事な一句に。作者のセンスの賜。

山里や炭焼き窯の崩れ跡 河合 和郎

昭和の年代、八王子周辺の山村は薪炭の供給地であった。燃料革命により炭焼きも過去のものに。

編集後記

コロナ感染拡大の中の臨時総会・例会 短時間で無事終了しました。 有泉 裕子

確認をし、執筆に取りかかりました。教科書の改訂は三年ごとにあるので次の改定までの三年間で教科書作成をしていきます。

毎週執筆者が集まり編集会議を行いました。その日の検討単元の教授内容、理解の流れ、科学的根拠、次への視野を広げられるか、言語は既習されているか、無理がないか、次年度或いは関連単元への繋がり、ここで教授しておくべき内容が網羅されているか等々諸角度から検討し、話し合い、教科書の一ページページを作成しました。

特に、中学一年生が最初に入る単元の教科書の解説語彙は、小学校で習得している語彙を使って解説することに心がけ、新しい語彙を使用するときは、その語彙が分かるよう前後のいずれかに解説文脈をおくようにします。時には、執筆者が書かれた一ページの原案文が残らないほど修正されることもありました。作成者一人一人があらゆる角度から吟味し文章表現、内容、実験の取り上げ方、説明の科学的手順、その学年の既習学習から理解ができるかなどを議論し作成にあたりました。

さらに現場の先生に見てもらい、時にはその案で授業を進め、意見を聞き、最終案を作り仕上げていく単元もありました。こうして三年がかりで中学生が使用する理科の教科書が執筆作成され、文部科学省の教科書検定に合格後、使用できる教科書として教育界に出ていくのです。

また、教科書の行間には先生の解説が隠されているのです。この解説のためにあるのが指導書であります。指導書の作成には大学のそれぞれの専門の教授の方、専門研究機関の方の協力をいただき主に単元担当の執筆者が作成をします。指導書は教師が授業中に授業の幅を広げるための、また、具体的科学的根拠等を示した資料として内容をまとめ、拡大説明資料へ導く教師への案内書とも言えます。

このようにして三年かけて世に送り出される一冊の教科書は、執筆者の叡智と努力をはじめ、専門分野の大学教授や専門研究機関の方の援助・助言、現場の先生方の声を集約した集大成とも言えましょう。

